

令和8年度第1回 川西町介護保険運営協議会・
川西町地域包括支援センター運営協議会 会議録

期日：令和8年5月29日（金）

時間：午後3時00分～午後4時05分

場所：川西町生きがい交流館

出席委員 加藤健吉会長、藤本亜希副会長、村上英樹委員、中村真由美委員、
片山彰浩委員、佐藤千恵美委員、吉永寿美子委員、菅野明日香委員、
遠藤恵子委員、横山のぶ子委員、登坂美紀子委員、黒澤恵子委員、
齋藤晴美委員

欠席委員 山田昌弘委員、安部眞委員

事務局 鈴木福祉介護課長、岡崎福祉介護課長補佐（介護担当）、皆川介護係長、高橋
介護係長、吉村包括支援係長、村上社会福祉士、大友福祉介護課長補佐、孫田
健康子育て課長補佐

《 次 第 》

進行役：岡崎福祉介護課長補佐（介護担当）（以下、岡崎課長補佐）

1. 開会 岡崎課長補佐
2. 委嘱状交付 茂木町長
委員を代表して、村上秀樹委員へ交付
3. 町長挨拶 茂木町長
4. 会長、副会長選出
規定上互選となっているが、事務局案を提案し次のように選出された。
会長：加藤健吉委員 副会長：藤本亜希委員
5. 会議録署名委員の指名 加藤会長
会長より、登坂美紀子委員を指名
6. 地域密着部会の委員及び部会長の指名 加藤会長
会長より、中村真由美委員、遠藤恵子委員、横山のぶ子委員、登坂美紀子委員、
黒澤恵子委員を指名。うち部会長に中村真由美委員を指名。
7. 報 告・協 議 議長：加藤会長
(1) 第10期川西町介護保険事業計画の在宅介護実態調査及びニーズ調査報告
高橋介護係長

【質疑及び意見等】

(登坂委員)

不安なく希望をもって生活できるようにしてほしい。アンケートの回収率が低い。

(藤本委員)

介護保険の情報量が多い。介護保険料を収める40歳の頃に介護保険について学ぶことができるとうい。

(黒澤委員)

令和6年7月から通所Bを取り組み、第4水曜日に食事会をしている。

(齋藤委員)

閉じこもりに伴うフレイル予防のため、デマンドタクシーを幅広く有効活用できれば良い。虚弱の判定で10点以上該当とあるが、1つでも2つでも早く気付けるものがあるとよいのではないか。

(菅野委員)

認知症はどのような症状が出たら受診すべきかの啓発があるとよい。

老人クラブというネーミングがよくない。若い世代が参加しやすいネーミングがよい。

(吉永委員)

閉じこもり予防のために、デマンドを低料金で使いやすいようにしてほしい。健康寿命を延ばすためにパークゴルフを活用し体を動かしてほしい。

(佐藤委員)

老人クラブは10年前に「きららクラブ川西」の愛称を採用している。広報等で周知はしているが、まだ浸透していない。

(中村委員)

地域に根差した活動ができるよう、社会福祉施設として地域に出向いて介護サービスについてお話できれば良いと思っている。

(村上委員)

専門職の人材不足が慢性化している。今後、経営維持を考え福島の前グループの法人と合併予定であり、今年4月に緑愛会から湖成会に名称変更を行った。小国町にあるグループホームとデイサービスの事業所もニーズはあったものの今年4月で廃止せざるを得なかった。

(回答：岡崎課長補佐)

介護保険制度は2000年に始まったが、2040年には高齢化が危機的状況になるため国は介護保険を使わず地域での支えあいを今一度盛り上げようと動いている。川西町は小国に次いで高齢化率が高い。介護保険料の平均が現在6,000円であるが次の保険料を決めるのが今期なので、いかに介護保険料を抑えられるかを皆さんと協議していきたい。元気な高齢者が増えるように、介護が必要になった方をどう支えるか、移動手段も含め皆さんのご意見をいただきたい。

(加藤委員)

きららクラブ以前は90名だったが、現在26名。クラブのメリットを検討しながら若い人が入れるようにしてもらいたい。デマンド交通が使いやすいように、まちりあ・パークゴルフ場の活用もお願いしたい。

(吉永委員)

運動した後、評価できるものがあると励みになる。

(回答：岡崎課長補佐)

健康子育て課と協議していきたい。

以上、委員会の次第及び協議の内容については、事務局において記載したものであるが、その内容は正確であることを証する。

令和8年6月11日

議 長 加藤 健吉

議事録署名委員 登坂 美紀子

(原本には署名をいただいております)